

情報

ひがし労

第 29 号

2026年 2月 9日

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

第8回定期中央委員会を開催！



JR東労働組合は2月8日、熊谷市立文化センター文化会館において「第8回定期中央委員会」を開催しました。第10回定期大会以降、地域型組織・横断的職場づくりを強化して組織拡大を図ってきた。また、改憲・軍拡、原発推進、強権的支配体制に抗し、広範な戦線を構築してきた。さらに、産業・事業構造の転換における労働者への犠牲転嫁を許さず、「職場と仕事」を守り「安全と健康」を担保してきた。そして、定期大会までの具体的な取り組みを推し進め、横断的労働組合を創造していくことを満場一致で確認した。

松下中央執行委員長から①子どもたちの平和な未来を創るため、「平和・人権・環境・民主主義」を守るたたかい②産業・事業構造の転換に伴う、三位一体の労働市場改革に立ち向かい、26春闘に勝利する闘い③すべての労働者・市民が結集できる横断的労働組合を創造するため、組織の強化、拡大を勝ち取るたたかいについてあいさつをしました。

発言は、14名全委員から反戦平和の統一戦線づくりや産業・事業構造の転換に伴う労働市場改革に抗するたたかいとして地域型組織と横断的職場づくりを強化し、各機関と個々の創造的な運動とそれを通じた組合員の強化・拡大の実践をもとにした発言がありました。

そして、鈴木書記長から①企業内労働組合の枠を超えて、困っている人や苦しんでいる人に手を差し伸べ、あらゆる労組・市民団体と連帯し、地域型組織の強化と横断的職場づくりを推進し、横断的労働組合を創造すること②プロレタリアヒューマニズムを基軸に、一切の戦争政策に反対し、職場や地域から広範な戦線を構築し、あらゆる戦争法や軍事増強、憲法改悪や原発再稼働、スパイ防止法や国民総監視体制の強化、ファシズムに反対していくこと③産業・事業構造の転換に基づく構造的賃上げに抗して、全ての組合員の大幅一律賃上げと最低賃金引き上げ等を実現し、連合労働運動をのりこえ、JR東海労をはじめとしたあらゆる労組と連帯・共闘し、春闘の構築を図ることなどについて答弁しました。

暗黒支配に覆われた現代世界を覆すために、「プロレタリアヒューマニズム」を基軸に、

東西南北を駆け廻り JR 東海労と共に階級的労働運動の再生に向けて邁進していこう！